



～未来をつくる子どもたちの豊かな心をはぐくむために～

道德のとびら

「ふくしまの先人たち」生き方クイズ

わたしたちのふるさと福島県には、自分の目標に向かって努力を続けたり、勇気をもって生きぬいたりした先人が数多くいます。どんな先人が、どのような生き方をしたのでしょうか。

写真の先人に当てはまる出来事はどれでしょう。家族で調べたり、話し合ったりしてみましょう。

うりゅう いわこ
瓜生 岩子 (喜多方市)



写真提供: 瓜生岩子刀自顕彰会

えんどう げんむ
遠藤 現夢 (会津若松市)



写真提供: 磐梯山噴火記念館

あさかわ かんいち
朝河 貫一 (二本松市)



写真提供: 朝河貫一博士顕彰協会

たべい じゅんこ
田部井 淳子 (三春町)



写真提供: タベイアソシエーツ

とみた たかよし
富田 高慶 (相馬市)



写真提供: 南相馬市博物館

のぐち ひでよ
野口 英世 (猪苗代町)

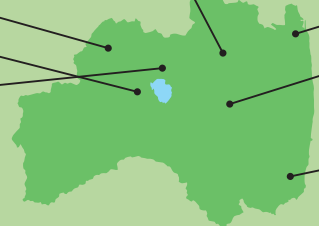


写真提供: (公財)野口英世記念会

くさの しんぺい
草野 心平 (いわき市)



写真提供: いわき市立草野心平記念文学館



出来事に当てはまる写真の で囲まれた文字を左の に書いてみましょう。

- ゆ** < 1歳の時に左手に大やけどを負い、小さい頃から友達に「てんぼう」とからかわれていました。しかし、それに負けず、どんなことにも歯を食いしばって粘り強く頑張りました。後に、世界で活躍する細菌学者となり、多くの人の命を救いました。
- < 地球上で最も高い山であるエベレスト (8848m) に女性として世界で初めて登頂し、その後七つの大陸で最も高い山すべての登頂に成功した、世界的に有名な登山家です。山を愛し、山のすばらしさを伝える活動や山の自然環境を守る活動に積極的に取り組みました。
- < 江戸時代、藩財政の再建と農村復興のため、二宮尊徳から学んだ二宮仕法 (報徳仕法) によって藩を救いました。愛するふるさと復興のためには、尊徳から学ぶ必要があると確信し、弟子入りするために、数ヶ月間、尊徳宅を訪ね続けたというエピソードがあります。
- < 磐梯山が1888年に噴火をし、北側に崩れて大地をうめ、緑が消えてしまいました。その荒れた土地に緑を取り戻そうと木を植える活動を行い、長い年月をかけて、現在の美しい裏磐梯の自然の基礎をつくりあげました。
- < 世界的に有名な歴史学者。日露講和条約の締結のために努力したり、戦争を回避しようと様々なはたらきかけを行ったりと、国際的視野に立って世界平和のために行動しました。日本人初のイェール大学教授となり、大学には彼の名前が付いた公園があります。
- < 「蛙の詩人」と呼ばれ、生涯にわたってカエルをテーマとした多くの作品をつくりました。「春のうた」という詩が小学校の国語科の教科書に掲載されています。好きな詩を作り続け、自分の好きなことを大切にしました。第1回読売文学賞や文化勲章を受けています。
- < 戊辰戦争で敵味方なく負傷者を救護しました。「日本のナイチンゲール」とも呼ばれています。戊辰戦争後の孤児や身寄りのない老人のために幼学校や教育所を開設し、多くの人々の命を救いました。

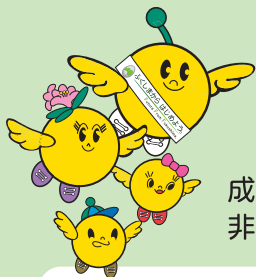
※ 上から読むと「ゆめをかえろ」「こころをこころ」



福島県教育委員会



先人の生き方からは、学べるものがたくさんあるよ。みなさんは、どんな生き方にあこがれますか？



「モラル・エッセイ」コンテスト最優秀作品

県教育委員会では、毎年「モラル・エッセイ」コンテストを行っています。今回紹介するのは、平成30年度の部門別最優秀作品です。次は、みなさんの心温まる体験談やすてきなエピソードを、是非お聞かせください。

* 中学生の部 「たくさんの人々が伸び伸びと共存する世の中へ」

南会津町立荒海中学校 3年 星 優妃

* 高校生の部 「命輝かせて」

県立白河高等学校 1年 加藤 慶大

ハリーポッターの物語を読むたびに、僕は主人公のハリーではなく、親友のロンに共感していた。親友のハリーや、五人の兄たちにコンプレックスをもつロンの姿が、自分と重なって見えたからだ。中学校の部活のバスケットボールは、小学校からミニバスで頑張ってきた友人たちのようにうまくできなかった。三人の兄たちは、地元の国立大学を卒業し、役所や学校で働いている。兄たちのようにできて当たり前、できなければ、僕だけがバカを証明することになる…いつもそう感じていた。

八十三歳の祖母は、現役の美容師だった。過去形なのは、去年の十一月に突然の病で倒れてしまったからだ。S字結腸に穴があき、一命はとり止めたものの、人工肛門になってしまった。しかし、祖母はストマ交換などの練習に努め、年末には退院することができた。その祖母を、二度目の病が襲う。今度はクモ膜下出血だった。その緊急手術からも生還した祖母は、この夏人工肛門から普通の体に戻す手術も受けた。一年もたたないうちに、三度目の手術だ。体重は、四十キロを切った。けれども、祖母はあきら

* 一般の部 「弁当の思い出」

中山 輝雄